

令和8年（2026年）2月教育委員会定例会会議録

日 時 令和8年（2026年）2月13日（金）午後3時～午後4時22分

会 場 柏崎市役所4階4-4会議室

出席者 教育長 近藤喜祐
委員（教育長職務代理者） 米谷杉子
委員 飯塚政雄
委員 霜田真紀子

欠席者 委員 荒川学

説明のため出席した職員

教育部長 田中光司
教育総務課長 細山和美
学校教育課長 兼
教育センター所長 山之内知行
文化・生涯学習課長 西巻隆博
スポーツ振興課長 兼
水球のまち推進室長 藤巻久之
図書館長 徳間正
博物館長 小黒利明

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課課長代理 布施豊

議 題

- 1 会議録署名委員の指名
- 2 教育長専決処理報告
 - (1) 令和7（2025）年度一般会計補正予算（第18号）について
 - (2) 令和7（2025）年度一般会計補正予算（第19号）について
- 3 審議事項
 - (1) 令和8年度（2026年度）教育委員会予算について
 - (2) 柏崎市スクール・サポート・スタッフ（不登校対策）任用要綱の制定について
 - (3) 柏崎市校内教育支援センター支援員任用要綱の制定について
 - (4) 柏崎市立学校教職員が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業の許可に関する要綱の制定について
 - (5) 柏崎市認定地域クラブ活動の認定について
 - (6) 新潟県柏崎市産業文化会館の指定管理者の指定について

- (7) 新潟県柏崎市体育施設設置及び管理に関する条例に規定する体育施設のうち、指定管理者が管理するものに関する規則の一部改正について
- (8) 新潟県柏崎市立図書館設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- (9) 柏崎市立図書館業務専門員任用要綱の一部改正について
- (10) 柏崎市学校読書支援員任用要綱の一部改正について

4 報告事項

- (1) 学区外就学許可について
- (2) 第56回新潟県ジュニア美術展覧会柏崎展の開催報告について
- (3) 第五次柏崎市生涯学習推進計画の確定について
- (4) 男子の水球大会「第2回アジアウィンターカップ水球競技大会」が開催されました
- (5) 共催・後援の事業について

5 その他

- (1) 3月定例会の日程について
- (2) その他

＜ 午後3時 開会 ＞

(近藤教育長)

議事の追加と日程の変更を諮りたい。

日程の第2、教育長専決処理報告に「(2) 令和7(2025)年度一般会計補正予算(第19号)について」を追加すること。

日程の第4、報告事項の「(1) 学区外就学許可について」は、教育委員会会議規則第15条第1項ただし書の規定により非公開とすること。併せて、その日程を「その他」終了後に変更したいが、よろしいか。また、配布資料は議事終了後に回収したい。

(全委員)

異議なし。

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、飯塚委員、霜田委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。

- (1) 令和7(2025)年度一般会計補正予算(第18号)について
 - (2) 令和7(2025)年度一般会計補正予算(第19号)について
- それぞれ関連があるため一括で議題とする。

(教育総務課長)

先月1月からこれまでの集中的な豪雪により教育委員会所管施設の除排雪経費に不足が見

込まれるため増額補正するものであり、まとめて説明させていただく。

最初に18号補正について、小学校300万円、中学校200万円、西山町坂田地内の埋蔵文化財施設24万円、博物館60万9千円を増額補正するものである。

次に19号補正について、高柳町岡野町地内の旧教員住宅45万円、小学校200万円、中学校220万円、図書館施設20万円、綾子舞会館5万円、飯塚邸9万5千円を増額補正するものである。

小・中学校にあたっては、18号補正と19号補正をあわせると。小学校では500万円、中学校では420万円の増額補正となる。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第3 審議事項

(近藤教育長)

審議事項に入る。

(近藤教育長)

(1) 令和8年度(2026年度)教育委員会予算についてを議題とする。

(教育部長)

すべて説明すると時間がないため、主だったものを説明させていただく。

最初に教育総務課所管事業を説明する。「通学支援事業(小学校・中学校)」1億5,109万2千円は、通学が遠距離となる児童生徒に対して、小学校は2.5Km以上、中学校は、夏4.5km以上、冬3.5km以上の遠距離地区から通学する児童・生徒のために、スクールバスを運行する。また、市の管理バスは、校外学習時の移動にも活用する。

「教員住宅解体事業」264万円は、高柳にある使用していない教員住宅を解体することで、建物の倒壊リスクをなくすととともに、除雪等の維持管理費が削減できる。来年度に解体を前提としたアスベスト調査を実施する。

「小学校施設整備事業」5億3,210万円、「中学校施設整備事業」4,210万円は、特別教室のエアコン工事に要する経費や旧野田小学校の体育館を解体する経費である。近年の猛暑の状況を鑑み、特別教室へのエアコン設置は、令和7(2025)年度から令和9(2027)年度までの3年間の予定で順次進めている。ほかに、小中学校の体育館LED化改修工事の設計業務も予定しており、その経費も計上している。

「荒浜小学校改築事業」2億650万円は、荒浜小学校グラウンド整備の経費であり、これで一連の工事が完了する。

「学校施設長寿命化事業(中学校)」4億7,872万円は、第三中学校の大規模改修工事を2年かけて実施する。

次に学校教育課所管事業を説明する。

「ふれあいルーム推進事業」と「カウンセリングループ運営費」は、今まで担っていた、こどもの発達支援課がなくなり、学校教育課に移管される。登校が困難な児童生徒への学習

支援、不登校や発達障害等に悩む児童生徒や保護者の個別相談をこれまでどおり行っていく。

「学力向上推進プロジェクト事業」1,159万円は、推進プロジェクトを継続し、5年目の取組を進めるための経費である。子ども達の思考力・判断力・表現力や知識、技術を活用する力を伸ばし、全国及び県平均を上回る学力レベルの定着を目指していく。

「不登校対策推進事業」734万9千円は、新規事業で、校内教育支援センター運営のためのスクール・サポート・スタッフ5名を配置する経費のほか、不登校児童生徒の学習保障に向けた公的支援施設設置検討に要する経費である。

「校内教育支援センター支援員配置事業」386万2千円も新規事業で、学習支援や相談支援などを行う校内教育支援センター支援員2名を配置する経費である。

次に文化・生涯学習課所管事業を説明する。

「文化会館管理運営費」2億1,882万6千円、「産業文化会館整備事業」8,371万4千円について、柏崎市文化会館アルフォーレは、舞台機構設備の制御盤部品交換及び音響調整卓の更新を行う。また、産業文化会館は、館内照明のLEDへの交換及び老朽化に伴う音響設備の更新を行う。

「文化振興事業」2,456万6千円は、花をテーマとした絵画の購入に係る経費及び早春の柏崎を彩る「柏崎の花 Spring Collection」を継続して開催するための経費である。令和7（2025）年度も先般、2月6日から11日にかけて開催し、教育委員の皆様もご覧になられたかと思うが、新年度も市外県外の方からもお越しいただき、冬季の誘客にも寄与したいと考えている。

次にスポーツ振興課と水球のまち推進室所管事業を説明する。

「体育施設管理運営経費」4億1,672万5千円のうち、3億8,578万4千円は、令和8（2026）年度から5年間継続する14の体育施設の指定管理に要する経費である。

「陸上競技場整備事業」1億3,700万円は日本陸上競技連盟第2種公認を更新するための経費、「総合体育館整備事業」2,290万円は、体育館の床など大規模改修をするための設計を行う経費、「西山総合体育館整備事業」4,600万円は、アリーナのLED化改修工事費を行うための経費である。

「水球のまち柏崎推進事業」1,034万7千円のうち、柏崎水球事業実行委員会負担金724万6千円は、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会開催に伴う大会出場国の事前キャンプ誘致、各種水球競技大会や水球イベント開催など水球を通じた国際交流機会のつながりと水球を観る機会の創出を更に深めるための経費が主なものである。

次に図書館所管事業を説明する。

「図書館サービス事業」6,566万8千円は、図書館での資料整理や貸出し、広報誌発行などの事務経費のほか、図書館業務に携わる図書館業務専門員や小学校を巡回し、児童の読書支援を行う学校読書支援員の人件費などを計上している。

「図書館施設整備事業」6,300万円は、老朽化したエレベーターを改修するための経費である。

最後に博物館所管事業を説明する。

「綾子舞保存振興事業」3,847万1千円は、国指定重要無形民俗文化財指定50周年の記念事業を実施するとともに、ユネスコ無形文化遺産に登録後の大きな節目として、フランス・パリで公演を行うものが主なものである。

「埋蔵文化財施設整備事業」2億5,260万円は、旧柏崎市遺跡考古館の解体工事に係

る経費が主なものである。

資料の説明は以上だが、本日、13日に市長臨時記者会見において、今ほど説明の内容も含め、新年度予算案を公表した。

令和8（2026）年度の教育費は、62億2,824万2千円。令和7（2025）年度の教育費は、68億4,375万1千円であり、令和7（2025）年度との比較で6億1,550万9千円、8,9%の減となっている。これは、タブレット端末の入替、中学校トイレ改修などが完了し、一段落したことが大きな要因と思われる。

新年度予算成立までのスケジュールは、今月の2月20日（金）に市議会本会議において予算案の説明、3月16日（月）に予算決算常任委員会文教厚生分科会で教育委員会予算の審査、そして3月23日（月）に議会本会議で採決が行われる。

（近藤教育長）

質問、意見を求める。

（飯塚委員）

文化振興事業、「柏崎の花—Spring Collection—」について、初めて拝見したが、非常に素晴らしかった。この催しに対して予算が2,456万6千円だと思うが、昨年同様、市長が絵画を購入する費用が含まれていることでよいか。

（教育部長）

ふるさと応援基金の「市長におまかせ」を活用し、絵画の購入を予定している。絵画以外にも催しを行うには飾りつけなどの経費もかかり、そういった経費も入れながら、今年度と同様の規模と考えている。

（飯塚委員）

絵画の購入費用はどのくらいか。

（文化・生涯学習課長）

ふるさと応援基金を見込んでいるが、大体2,000万円程度を見込んでいる。

（教育部長）

購入点数については、毎年、変動がある。

（飯塚委員）

質問ではなく、意見を述べさせてもらう。高額な絵画が数日間で倉庫に保存されている。非常にもったいない気がするので、何かほかの展示方法を考えてほしい。

（霜田委員）

学力向上推進プロジェクト事業、英語教育推進事業が拡充されているが、拡充部分を教えてもらいたい。

不登校対策推進事業について、学校に来られない子ども達の学業が遅れないことをサポートするのか、学校にきてもらうようサポートするのか方向性を聞かせてもらいたい。

（学校教育課長）

学力向上推進プロジェクトについて、昨年度は別の予算で計上していた学習指導非常勤講師を組み入れたため、人件費が増額となった。英語教育推進事業は人件費の増額によるものである。

不登校対策推進事業と校内教育支援センター支援員配置事業についてだが、全国的にもコロナ禍を経て急激に不登校が増えており、柏崎市でも増えている。そのような中、来年度、柏崎市として不登校対策に力を入れ、新規事業を立ち上げた。

不登校にはいろいろな段階があり、例えば、学校には行けるが教室に行けない場合、学校の休みが30日以上になると不登校としての数に入る場合、中には、90日以上、学校を休んでいる人もいます。それぞれの段階で対策しなければならない。

校内教育支援センター「SSR」というが、これについては、登校渋りが始まった段階において、別の教室で支援員とともに学習し、教室復帰を目指すためのものである。

現在、不登校中に学校に行く意欲が湧き登校したが、学習の遅れがあるため、教室での授業ではなく別室で学習支援を行い、いずれ、自分の教室に戻ってもらうこともある。

また、いろんな多様な学びも認められる中、柏崎市が考えている学びの多様化学校の事業も新年度から考えていかなければならない。

(近藤教育長)

私の方からも一言付け加えさせてもらおうと、学びについて、学校教育課長から話があったが、今までだと、学校1択みたいな形だったが、現在はいろんな形となっている。例えば、オンライン、或いは、民間のフリースクールなど、いろんな学びの形があることは知っているし、文部科学省もそういう学びも認めることは十分承知している。ただ、柏崎市は、不登校対策として学校復帰を第一に考えていきたい。

(米谷委員)

3点ほどお聞きする。

1点目、校内教育支援センター支援員配置事業について、不登校の状況によって、必要に応じて学校に設置するのか。

2点目、「柏崎の花—Spring Collection—」について、今年も楽しく拝見した。昨年と同じことを言ったが、購入した絵画を市民に見せる機会を増やしていければと思う。絵画を置いておく環境に問題があると思うが、博物館の中に閉まっておくのではなく、その絵画を鑑賞できる時間が持てるような方向を考えてもらいたい。

3点目、綾子舞保存振興事業について、綾子舞の公演をフランス・パリで行うが、なぜ、フランス・パリを選定したのか。

(学校教育課長)

校内教育支援センターの設置する学校のご質問だが、おっしゃる通り、必要に応じて各学校が判断して、空き教室を利用して設置する。

(文化・生涯学習課長)

ご指摘いただいている絵画については、より多くの市民の皆様へ鑑賞いただきたいという思いは同様である。しかしながら、絵画は高価かつ貴重であるため、展示にあたっては厳重な管理と慎重な取り扱いが必要不可欠である。

各施設（アルフォーレ、産業文化会館等）では年度ごとに事業計画やイベントが決まっております。展示ホールも含め会議室などは貸館事業としてやっている。そうになると、イベントの合間を縫って展示しようとしても、次の催事への準備期間（入れ替え作業等）が必要となるため、展示スペースや期間の確保が困難な状況にある。また、博物館から他施設へ移動させる際、距離は短くとも、移送中の破損等のリスクが伴うため、担当部署としても非常に慎重にならざるを得ない。

これらの課題により、現状では頻繁な展示が難しい面があるが、市民の皆様からの多く鑑賞したい要望も認識している。今後は、会場確保の調整や展示方法、期間などを工夫し、少しでも鑑賞の機会を設けられるよう取り組んでいきたい。

(博物館長)

綾子舞のフランス・パリ公演について、まず、今回、海外公演を行う背景として、令和4(2022)年にユネスコ無形文化遺産に登録されたこと、今年が国指定重要無形民俗文化財としての指定50周年に当たることが挙げられる。

これまでも10年ごとに周年事業を実施してきたが、今回は50周年という大きな節目であることに加え、ユネスコ登録後初の周年事業であることから、記念すべき事業として海外公演を計画した。その上で、開催地については、ユネスコ本部が所在する地であることから、フランス・パリを選定したものである。

(飯塚委員)

不登校の要因のひとつとして、全国的な傾向だと思うが、子ども達にとって世の中が窮屈になってきていると感じる。学校での長時間学習に加え、家庭でも過度な学習を求めることは、子どもを追い詰めることになりかねない。学力向上施策を否定するものではないが、家庭学習のあり方や伝え方を見直し、子ども達に自由な時間を与えることが、状況改善の一助になるのではないかと。

学力(認知能力)だけでなく、子ども達が幸せに生きるための力、いわゆる「非認知能力」の育成にもっと光を当てるべきである。勉強ができていても幸福感を持っていないのでは本末転倒であるため、子ども達がのびのびと成長できる環境づくりを私自身も含め考えていきたい。

(学校教育課長)

不登校の原因は、本人自身でさえもわからない、複雑な要素があり難しい。柏崎市の取組として、一人一人の不登校対応カルテを開発し、今年度試行した。不登校の原因が学習なのか、生活なのか、家庭なのか、いろいろあると思われるが、今後はその辺も探りながら、その人の合ったカルテを作成していく。

また、ワーケーション制度を活用して、保護者の家庭教育力などにより、いろいろな体験や多様な学びを認めていき、子どもが成長できる方向性も考えていきたい。

(近藤教育長)

他になれば承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(2) 柏崎市スクール・サポート・スタッフ(不登校対策)任用要綱の制定についてを議題とする。

(学校教育課長)

不登校解消と教員の多忙化解消のため、令和8(2026)年度から市内中学校にスクール・サポート・スタッフ(不登校対策)を配置するものである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(3) 柏崎市校内教育支援センター支援員任用要綱の制定についてを議題とする。

(学校教育課長)

不登校解消のための相談支援及び学習支援を充実させるため、令和8(2026)年度から市内小学校に校内教育支援センター支援員を配置するものである。スクール・サポート・スタッフと違う点は、学習の支援を行うことである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

他になれば承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(4) 柏崎市立学校教職員が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業の許可に関する要綱の制定についてを議題とする。

(学校教育課長)

部活動地域展開の円滑な実施のため、学校教職員による地域クラブ活動への参画に係る兼職兼業の許可手続きを要綱で定めたものである。教職員の中にも地域クラブの指導者になりたい者もあり、報酬等が発生するため、この兼職兼業の申請をしてもらい、従事する。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(5) 柏崎市認定地域クラブ活動の認定についてを議題とする。

(学校教育課長)

1月の定例教育委員会で、柏崎市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱の制定に審議していただいた。それを受けて、市内の地域クラブから認定に係る申請があった。審査した結果、要綱に定める認定要件を満たすことから、申請のあった5種目、8つの団体を柏崎市認定地域クラブ活動として認定するものである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(6) 新潟県柏崎市産業文化会館の指定管理者の指定についてを議題とする。

(文化・生涯学習課長)

柏崎市産業文化会館の指定管理期間が令和8(2026)年3月31日をもって満了することに伴い、引き続き、同施設を指定管理したいため、指定管理者を指定するもの。指定管理者となる団体は、公益財団法人かしわざき振興財団。指定の期間は、令和8(2026)年4月1日から令和13(2031)年3月31日までである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(7) 新潟県柏崎市体育施設設置及び管理に関する条例に規定する体育施設のうち、指定管理者が管理するものに関する規則の一部改正についてを議題とする。

(スポーツ振興課長)

令和8(2026)年4月1日に西山テニスコートの用途を廃止するため、所要の様式を改正するものである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(8) 新潟県柏崎市立図書館設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とする。

(図書館長)

図書館の利用状況や社会的な情勢に鑑みて、休館及び開館時間の見直しを行う。

開館時間について、現在、6月から9月の夏季の間、閉館時間を午後8時までにしていたので、通年、午後7時までにするもの。

休館日を12月30日から1月3日までを12月29日から1月3日までにするもの。施行日は令和8(2026)年4月1日とする。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(9) 柏崎市立図書館業務専門員任用要綱の一部改正について

(10) 柏崎市学校読書支援員任用要綱の一部改正について

それぞれ関連があるため一括で議題とする。

(図書館長)

図書館業務専門員及び学校読書支援員の月額報酬については、柏崎市臨時職員等に関する規則に定めのある報酬額を要綱の別表に反映させており、同規則の報酬額の改定が行われる都度、要綱の改定が必要となっている。このため、月額報酬を同規則の報酬額の規定に準用するよう改正し、事務手続の簡略化を図りたい。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第4 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課(館)長が資料に沿って説明

(2) 第56回新潟県ジュニア美術展覧会柏崎展の開催報告について

(3) 第五次柏崎市生涯学習推進計画の確定について

(4) 男子の水球大会「第2回アジアウィンターカップ水球競技大会」が開催されました

(5) 共催・後援の事業について

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

第5 その他

(1) 3月定例会の日程について 3月19日(木)午後3時開会

(2) その他

(学校教育課長)

令和9(2027)年度に統合が決まっている東中、第五中、北条中の交流活動について報告する。2月12日に北条中1年生と第五中1年生が東中学校の校舎を見学した。保護者も両校合わせて7、8名の参加があり、一緒に見学をした。次回は3月17日に東中の1年生を含めて、レクリエーションを中心とした交流をする計画となっている。

(近藤教育長)

議案説明員以外の職員の退席を求める。

報告事項

(1) 学区外就学許可についてを非公開で行う。

< 午後4時22分 閉会 >

以上、相違ないことを確認する。

令和8年(2026年)3月19日

教育長 近藤 喜 祐

委 員 飯 塚 政 雄

委 員 霜 田 真紀子